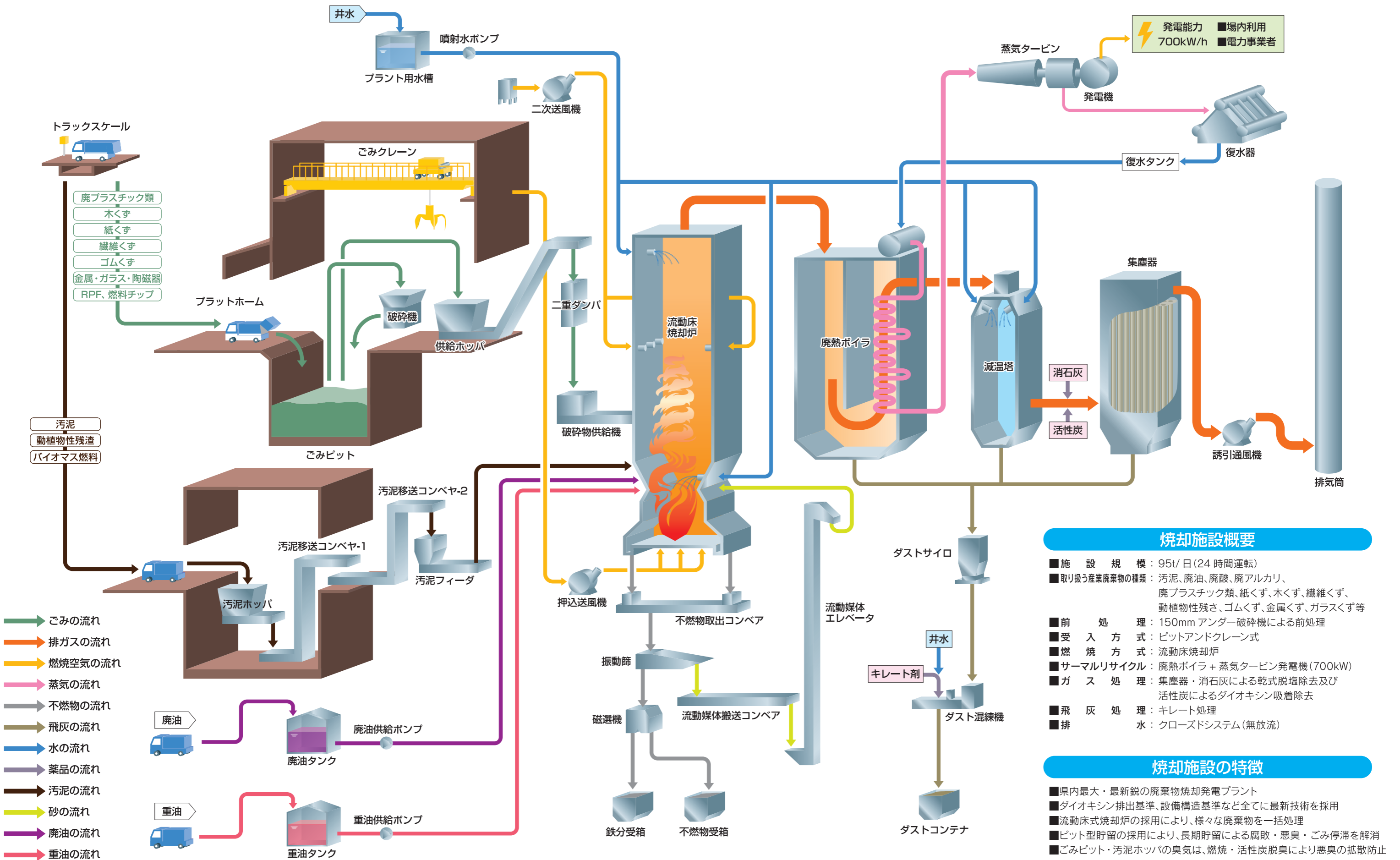


廃棄物焼却発電設備フロー

再生困難な廃棄物をサーマルリサイクルにて電気エネルギーとして活用し、
 接続可能な循環型社会をめざします。



焼却施設概要

- 施設規模：95t/日(24時間運転)
- 取り扱う産業廃棄物の種類：汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、ゴムくず、金属くず、ガラスくず等
- 前処理：150mmアンダー破砕機による前処理
- 受入方式：ピットアンドクレーン式
- 焼却方式：流動床焼却炉
- サーマルリサイクル：廃熱ボイラ+蒸気タービン発電機(700kW)
- ガス処理：集塵器・消石灰による乾式脱塩除去及び活性炭によるダイオキシン吸着除去
- 飛灰処理：キレート処理
- 排水：クローズドシステム(無放流)

焼却施設の特徴

- 県内最大・最新鋭の廃棄物焼却発電プラント
- ダイオキシン排出基準、設備構造基準など全てに最新技術を採用
- 流動床式焼却炉の採用により、様々な廃棄物を一括処理
- ピット型貯留の採用により、長期貯留による腐敗・悪臭・ごみ停滞を解消
- ごみピット・汚泥ホッパの臭気は、燃焼・活性炭脱臭により悪臭の拡散防止